

新潟県

公民館だより

11

November 2025

No.838



TOPICS

特集

第75回新潟県公民館大会を振り返って

9月26日(金)に簡素化を図るためもあり半日日程で、第75回新潟県公民館大会が刈羽村生涯学習センター「ラピカ」で開催されました。会場は刈羽村でしたが、柏崎市、出雲崎町と3市町村で実行委員会をつくり、まとまって計画、運営に当たられ、よく連携の取れた大会だと実感しました。

今回もオンラインを活用したハイブリッド開催となり、各市町村から申込みのあった参加者が、会場に192名、オンラインで34名の合計226名であり、他に講師、来賓、技術支援者、会場役員などを合わせると、約250名の参加者がありました。多くの皆様からご参加いただくことができました。

今回は意見交換の場を設け、会場では3人一組で話し合い、さらにオンラインの参加者同士でも意見交換ができるようにする新しい取組も行いました。そのためもあり、県立生涯学習推進センターの職員の

皆さんから、多大なご支援ご協力をいただき改めて感謝申し上げます。

大会主題
「シン・公民館」
～未来を拓く
公民館を目指して～



ロビーで談笑する参加者



主会場 刈羽村生涯学習センター「ラピカ」



司会者の脇にオンライン用のカメラ



開会前の会場、オンライン画面のスクリーンも



受付の様子



主催者あいさつ
新潟県公民館連合会 長谷川明寿会長
(上越市立中央公民館長)



開会のことば
入澤勇太実行委員長
(刈羽村公民館長)



ステージ 右に来賓、左に主催者



歓迎のあいさつ
品田宏夫判羽村長



受賞者代表謝辞
津南町の内山純一さん



永年勤続者表彰 県内で29名が受賞
会場には9名、オンラインで1名が参加



来賓あいさつ
新潟県教育委員会
鶴巻勝教育次長



主会場でもオンライン会場の
様子が分かり、一体感が
生まれた



司会は出雲崎町職員の
村越一雄さん
プロ並みの技量で大好評



閉式のことば
長谷川健一県公連副会長
(加茂市公民館長)



来賓紹介 6名の方がご臨席

講演会

講師

新潟大学教職大学院教授
雲尾 周 様

演題

地域社会の
未来を拓く公民館
～社会教育の温故知新と
アフターパンデミック～



講師 雲尾周
新潟大学大学院教授



講師紹介
曾根兼知県公連理事
(出雲崎町中央公民館長)

36枚のスライドを用意してもらい、視覚に訴えながら新潟県の公民館の歴史(平成20年まで公民館数は全国の都道府県中、第2位で公民館王国だった)、教育基本法や社会教育法における公民館の規定、地域課題解決学習における社会教育・公民館に期待される役割、コミュニケーションスクールと地域学校協働



スライドを活用した分かりやすく、熱のこもった講演

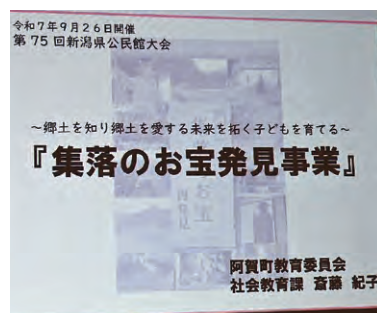
活動などを解説していただきました。その上で、地域課題の把握や課題解決、ICTを活用にした事例を紹介しながら、新しい「つどい まなび むすぶ」について示唆をいただき、「あなたの講座が地域をつくる」という公民館職員にとって力強い励ましの言葉をもらいました。最後のスライドにあった言葉を紹介します。

家庭教育…
この家庭に育ったことに感謝し喜びを感じる

学校教育…
この学校でのまなびと想い出を基に活躍する

地域教育…
この地域で育まれたことに愛着と誇りを持つ

社会教育・生涯学習…
この社会で学んでいることの意味を実感する

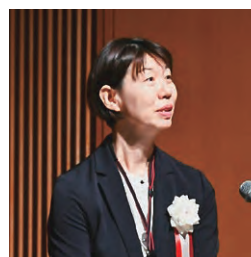


「集落のお宝発見事業」



阿賀町公民館
斎藤主任(左)、清田主任(右)

事例発表



お礼のことば
県公連土田道代副会長
(新発田市生涯学習課長)

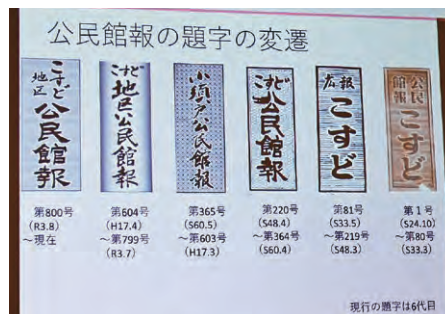


会場からは質問があり



新潟市小須戸地区公民館
吉田館長

阿賀町公民館の斎藤紀子主任と清田亮主任が、郷土を知り郷土を愛する未来を拓く子どもを育てる「集落のお宝発見事業」をテーマに発表された。人口約8,850人の阿賀町では人口減少と少子高齢化が急速に進行している中で、社会教育課が所管する「放課後児童クラブ」の小学生を対象に「集落のお宝発見事業」を実施して、「誇りを後世につなぐ、まちづくりと人づくり」を目指している。この事業を実施するにあたり、社会教育委員をメンバーとする運営会議を開き、全119集落へのアンケート調査や集落への聞き取り調査を行って、実施集落を選定したり、冊子の編集・作成を行い町内の学校や関係機関に配布したことなどの紹介があった。子どもを対象にした事業であるが、社会教育委員や各集落を巻き込んだ取り組みであることが実感できた。



「今年で発行75年 こすど地区公民館報」

新潟市小須戸地区公民館の吉田弘樹館長が、多様な主体と連携しながら今年で発行75年「こすど地区公民館報」をテーマに発表された。昭和23年9月に設置された歴史ある公民館で、昭和24年10月の第1号から今年10月で850号の発行になり、76年目に突入という歴史を誇っている。その歴史を同公民館のホームページで見ることができ、過去に県優良公民館表彰3回受賞、全国優良公民館表彰1回受賞されている。作成には、職員が公民館事業や地域の面白い話題などを取り入れた原稿を作成し、地域住民などで行く「館報編集会議」で議論を行い、印刷業者が作成した広報を各自自治会の力も借りて配布さ



新企画：意見交換、会場は3人1組で話し合い、オンラインでも実施



質疑応答 数人の質問者から様々な質問があり、的確な返答がされていた



れる。広報作成が地域の連帯を深め、地域の誇りになっており、公民館が地域になくてはならない存在であることが分かる発表であった。



閉会のあいさつ
高島純子県公連副会長
(新潟市中央公民館長)



意見交換の状況報告

会場の刈羽村をはじめ柏崎市、出雲崎町の皆さんが素晴らしい連携で企画・運営に当たっていただき、県内29市町村のご協力・ご尽力に加えて、県立生涯学習推進センターのご支援により、実りの多い大会が開催できました。講師、来賓などの皆様を加えて約250名のご参加をいただき、半日日程ながら内容の濃い大会になったと考えています。

氏名	所属
久保田 秀子様	糸魚川市磯部地区公民館
磯野 美和様	糸魚川市中能生地区公民館
伊藤 裕美様	糸魚川市木浦地区公民館
保坂 真由美様	上越市三郷地区公民館
高橋 登志満様	上越市北畠地区公民館
佐藤 寿美子様	上越市谷浜・桑取地区公民館
太田 勝美様	上越市頸城地区公民館大湊分館
寺嶋 友枝様	上越市柿崎地区公民館黒川分館
鈴木 美奈子様	上越市柿崎地区公民館黒川分館
勝山 雅子様	上越市清里地区公民館
金井 邦子様	上越市牧地区公民館
内山 純一様	津南町公民館
佐藤 克彦様	燕市川前公民館
北村 吉雄様	新潟市横越地区公民館
阿達 哲二様	新潟市小須戸地区公民館
横山 清様	新潟市小須戸地区公民館
小見 健雄様	新潟市小須戸地区公民館
西野 伸治様	新潟市白根地区公民館
成田 さゆり様	新潟市白根地区公民館
山田 泰介様	新潟市白根地区公民館
八島 康平様	新潟市西地区公民館
石田 晶子様	新潟市巻地区公民館
五十嵐 圭子様	新潟市月潟地区公民館
井澤 孝子様	新潟市月潟地区公民館
丸山 孝子様	新潟市月潟地区公民館
阿部 真樹様	新潟市月潟地区公民館
新野 明美様	関川村公民館

◆◆令和7年度県大会永年勤続者表彰受賞者名簿◆◆



「社会教育を学校現場に生かす」

佐渡市立南佐渡中学校 校長 妹尾 雅巳



令和4年4月から令和5年3月までの2年間で、新潟県立生涯学習推進センターで副参事としてお世話になりました。それ以前には新潟県立文書館でも2年間勤務しました。社会教育関係の所属は計4年間の勤務です。この4年間で学んだことは来所される県民の方の目線にな

ること、研修会等の講師の方の御講義を実践に生かすことです。両方の施設で勤務をしていて特に心がけていたことは、来所される方が県民であり、県の職員として県民の方のニーズにお応えするのが業務であるということと学びました。その学んだことを学校現場に戻った今でも、校長として、保護者、地域の方々の目線で対応することを心がけています。

また、多くの研修会の中で特に印象深かったことは、尚絅学院大学の松田教授から社会教育関係職員向けに御講義いただいた「等話」についてです。この学んだことを学校現場で生かさないものかと考えていたところ、昨年度赴任した本校で佐渡市の学活の研究発表会の機会をいただきました。その時に、松田教授からもアドバイスをいただきながら「等話」を取り入れた授業実践を行いました。話合い活動のルールについて、「等話」を取り入れた話合い活動は、生徒

たちにとって学校生活のみにとどまらず、将来この地域を背負う立場になったとき、この地域に根付いていくのではないかと考えました。さらに、次年度は新潟県の研究発表会にて道徳教育に生かし、「考え、議論する道徳」を実践していくことができないかを探っています。このように、社会教育と学校教育とのつながりを引き続き模索しながら、学校教育の現場でより生かされるように努めていこうと思います。

アメリカンフラワーとは、ワイヤーを花びらや葉の形に成形し、専用のディップ



アメリカンフラワー
四季の花

(阿賀野市水原公民館)

液にくぐらせて幕を張り、束ねて作る造花。ディップアートと呼ばれる。月に2回の活動で、集中して作品を仕上げるために時間は10:30〜16:00と長めですが、楽しく活動しています。出来上がった作品は、本物と見間違ふほど。生花ではないので長持ちするのも良いところです。

講師の方には、マニキュアフラワーでアクセサリーを作る親子向けの公民館講座で、先生をしてもらいました(令和7年10月4日開催)。

アメリカンフラワー作成の様子

成形したワイヤーをディップ液にくぐらせて幕を張る



バラ



バラ

ディップ液にくぐらせる前のワイヤー



親子向けの公民館講座の様子

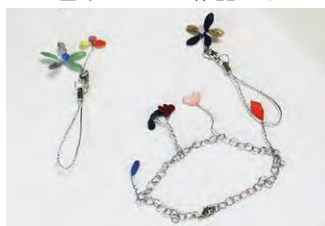


マニキュアを塗って
オアシスに刺して乾燥

マニキュアを塗る様子



出来上がった作品たち



実践記録シリーズ

第69回津南町美術展

津南町美術展について

津南町美術展は、町内外の多彩な作家たちが集い、絵画・書・写真・工芸など幅広い分野の作品を展示する地域文化の祭典です。町民の創作活動の成果を披露するとともに、来場者が芸術に親しむ機会を提供しています。会場では、子どもから高齢者まで幅広い世代の感性が交わり、津南ならではの自然や暮らしを題材にした作品も数多く見られます。地域の温かさや創造の力を感じられる本展は、毎年多くの方に親しまれ、町の文化の発展と交流の場として大切に受け継がれています。

毎年多くの町内美術愛好家の方から出品をしていただいております。毎年100を超える作品を展示していただいております。

しかし、津南町美術展は、町民の創作意欲を支える大切な文化事業ですが、いくつかの課題も見られます。出品者の高齢化が進み、新規参加者や若い世代の出品が少ないことが大きな課題です。また、広報が紙媒体中心



津南町美術展
(津南町公民館3F 視聴覚室での展示)

で、SNSなどを通じた情報発信が十分でないため、来場者の減少にもつながっています。展示方法や会場環境の改善も求められ、デジタル作品など新しい表現に対応しきれていない面もあります。今後は、例年出品していただいている方と協議して、この伝統ある美術展を魅力的な事業として進化を目指すことが目標になると考えております。

お客様の声

津南町美術展を訪れた来場者からは、「町の人たちの作品に温かみがあり、見ていて心が和む」「知っている風景や人が題材になっていて親近感がわく」といった声が多く寄せられています。展示作品の多くは、津南の自然や暮らし、季節の移ろいを題材にしており、見る人の記憶や感情と重なって共感呼びます。中には「毎年この展覧会を楽しみにしており、年々作品のレベルが上がっている」「町の小学生や高齢の方まで出品していて、地域の一体感を感じる」といった感想も聞かれます。また、家族や友人の作品を応援するた

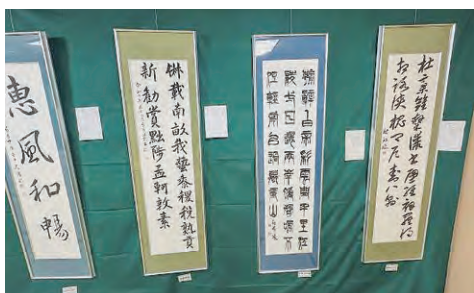


津南町美術展
(津南町公民館3F 和室での展示)

美術展は、芸術を通して人と人をつなぎ、町の魅力を再発見する場として多くの来場者に親しまれています。作品数が減少傾向になっている所が課題ではありますが、スペースを活用してどう見やすく展示するか、毎回スタッフと相談しながら工夫を重ねております。

おわりに

津南町美術展は、地域に根ざした文化活動として長年親しまれてきました。出品者の創意あふれる作品と、それを温かく見守る来場者の存在が、この展覧会を支えています。一つひとつの作品には、津南の自然や暮らし、そして人々の思いが息づいており、会場全体に町の魅力とぬくもりが広がります。美術展を通して、地域の人が互いの感性に触れ、新たな発見や交流が生まれることは、まさに「文化が人をつなぐ」瞬間です。公民館では、こうした出会いや学びをこれからも大切に、次世代へと文化の灯を受け継いでいくことを目指しています。津南町美術展が、これからも町の誇りとして、多くの人に愛され続けることを願っています。



津南町美術展作品

素顔拝見



上越市社会教育課（公民館係）

主事 山崎 尊斗さん



令和7年4月に採用され、社会教育課で公民館の業務を担当している山崎尊斗さんを紹介します。

市内にある複数の公民館を担当しており、施設管理のほか各館に常駐している公民館主事と連携しながら講座の運営をしています。自分の考えをしっかりと投影させながら、責任をもって業務を遂行されており、その姿は我々にとってこの上なく頼もしい存在です。

また、担当地区で行事があれば積極的に顔を出し地域の皆様方と交流を深める等、仕事との向き合い方も素晴らしく、共に仕事をさせていただいている者として、その度に感服させられています。

そんな山崎さんのバックボーンは小学校から大学、そして現在も続けている野球です。高校では県内の強豪校へ進学し、投手としても活躍されました。

令和の好青年という形容がピッタリくる山崎さんには、引き続き公民館関係の業務をはじめとして様々な経験を積み、社会教育関係はもとより広範な業務を受け持つ市職員として、市民のために大いに活躍されていかれることを期待しています。

（社会教育課三郷地区公民館

公民館主事 細野 敏行記）



先日、事務局で使っている2台

のうち古い方のパソコンが動かなくなり、新しいパソコンが来るまで事務仕事ができず、書類の整理などの数日でした。

ウィンドウズパソコンが普及したのは1995年、今年で30年、現在50歳の人は仕事を始めたころには、パソコンを使っていた世代です。従って社会人の多くの方はパソコンがあるのが日常の世代です。今ではスマホのない生活も考えられないし、AIも同様になるのでしょうか。昨年の関プロ大会の記録集は、AIの力を借りて作成しました。次は何が必需品になるのか、期待が膨らみます。（五井）

インフォメーション

これからの新潟県公民館連合会関係の主な予定

1 新潟県公民館連合会 第3回理事会及び 第2回評議員会について

①日時 令和8年2月6日（金）
理事会

10：10～12：00
303 講座室

評議員会
13：30～16：30
303・304 講座室

②会場 クロスパルにいがた
（新潟市中央公民館）

※ご案内は1月上旬にお出しします。

2 全国公民館セミナー （全国公民館連合会主催）

①会期 令和8年2月2日（月）
～4日（水）

②会場 明治安田ホール
（東京駅から徒歩5分）

③申込み 12月10日（水）までに
新潟県公民館連合会へ

3 関東甲信越静公民館 連絡協議会 第3回理事会

①期日 令和8年2月13日（金）

②会場 埼玉県川越市
ウェスタ川越

公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポートします。

1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度
＋災害補償保険（公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約）

2. 賠償責任補償

賠償責任保険（施設所有管理者特約、昇降機特約）

3. 職員災害補償

全公連見舞金制度＋傷害総合保険
【就業中のみの危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約（支払限度日数180日）】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店
（お問い合わせ・資料請求先）

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL：0120-636-717（通話料無料） FAX：0120-226-916（通話料無料）

（受付時間：平日9:15から17:00まで）

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社

公務文教営業部 文教室

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-4679（受付時間：平日9:00から17:00まで）

（SJ23-13019）2024年1月15日作成 [2401K-0]

